

筒井真理子

光石研

磯村勇斗 / 柄本明 / 木野花 キムラ緑子

監督・脚本：荻上直子

プロデューサー：杉田浩光 渡辺誠 企画・プロデューサー：米満一正

制作プロダクション：テレビマンユニオン 配給：ショウゲート

Twitter: @hamon_film ©2022 映画「波紋」フィルムパートナーズ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

波

HAMON

紋

絶望を笑え



須藤依子(筒井真理子)は、今朝も庭の手入れを欠かさない。「緑命会」という新興宗教を信仰し、日々祈りと勉強会に勤しみながら、ひとり穏やかに暮らしていた。ある日、長いこと失踪したままだった夫、修(光石研)が突然帰ってくるまでは―。自分の父の介護を押し付けたまま失踪し、その上がん治療に必要な高額な費用を助けて欲しいとすがってくる夫。障害のある彼女を結婚相手として連れて帰省してきた息子・拓哉(磯村勇斗)。

で怒鳴られ
辛苦が降り

て連れて帰省してきた息子・拓哉
パート先では癩癩持ちの客に大声
で怒鳴られ
る…。自分ではどうにも出来ない
かかる。依子は湧き起こる黒い
感情を、宗教にすがり、必
死に理性で押さえつけ
ようとする。全てを押し
殺した依子の感情が爆発する時、映画は絶望からエンタ
テインメントへと
昇華する。

「あなたの犯した
罪は、なかつたこと
にはならない」
痛快爽快! 絶望エンタ
テインメントの誕生

全員、実力派。全員、ヤバい。



第67回ベルリン国際映画祭・観客賞&審査員特別賞受賞『彼らが本気で編むときは』
荻上直子最新作にして最高傑作に豪華俳優陣集結。

荻上直子監督のオリジナル最新作にして、監督自身が歴代最高の脚本と自負する絶望エンタテインメントの誕生だ。監督は、須藤家を通して、現代社会の闇や不安と女性の苦悩を淡々と、ソリッドに描き出す。放射能、介護、新興宗教、障害者差別といった、誰もがどこかで見聞きしたことのある現代社会の問題に次々と翻弄される須藤家は、正に社会の縮図だ。しかし、これを単なる絶望で終わらせないのが荻上監督の新境地とも言える。そんな斬新な内容に鑑賞者を引き込むリアリティを与えているのは、筒井真理子、光石研、磯村勇斗、木野花、キムラ緑子、柄本明、江口のりこ、平岩紙ら、名前を挙げるだけで興奮を感じる役者たち。

依子から広がる波紋は、きっと全ての女性、いや現代社会に生きる全ての人に届くことだろう。依子は、あなただ。

筒井真理子 光石研

磯村勇斗 / 安藤玉恵 江口のりこ 平岩紙 津田絵理奈 花王おさむ 柄本明 / 木野花 キムラ緑子

監督・脚本: 荻上直子

エグゼクティブプロデューサー: 富田朋子 堤天心 小山洋平 高津英泰 久田晴喜 寺井雄浩 プロデューサー: 杉田浩光 渡辺誠 企画・プロデューサー: 米満一正 撮影: 山本英夫 照明: 小野晃 録音: 清水雄一郎
美術: 安宅紀史 衣装: 宮本まさ江 衣裳(現場): 村田野恵 ヘアメイク: 須田理恵 音楽: 井出博子 編集: 普嶋信一 記録: 天地芳美 VFX: 大萩真司 佐伯真哉 音響効果: 中村佳央 助監督: 岡谷崇 演技事務: 竹村悠
制作担当: 柴野淳 ラインプロデューサー: 金森保 宣伝: FINOR 映画「波紋」フィルムパートナーズ 製作幹事・制作プロダクション: テレビマンユニオン 制作協力: キリシマ1945 配給: ショウゲート

hamon-movie.com

@hamon_film

©2022 映画「波紋」フィルムパートナーズ (C) (R) 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

5月26日(金)公開!